

2020 シーズンも「ファジアーノレッド」。

“Cスタ”に向け、募金と本社鉄塔ライトアップでリモート応援

「明治安田生命 J2リーグ 2020」は2月23日（日）に開幕、岡山市北区のシティライトスタジアム（愛称：Cスタ）で開催されたファジアーノ岡山開幕戦・対ツエーゲン金沢戦を皮切りに全国でJ1昇格を賭けて熱戦が続く予定でした。しかし、ファジアーノ岡山はこの1試合のみの消化で、新型コロナウイルス感染症拡大による「緊急事態宣言」の発令により約4ヶ月にわたり公式戦が中断、6月27日（土）再開の第2節以後もしばらくは「リモートマッチ」として行われました。



OHK岡山放送（本社：岡山市北区）は2020シーズンもホームゲーム開催時に本社鉄塔を写真のように「ファジアーノレッド」に照らし、“Cスタ”に向けて「光によるリモート応援」を継続いたしました。

そんな中、有観客試合の制限は徐々に緩和され、スタジアムにも活気が戻り、サポーターの拍手もOHK本社まで聞こえて来るようになりました。

Cスタでの今季最終戦となる11月25日（水）、栃木SC戦のキックオフに先立ち、OHKなどマスコミ5社が加盟する

「ファジアーノ岡山募金推進委員会」を代表してOHK・中静敬一郎社長から、ファジアーノ岡山の北川 真也社長に目録を贈呈しました。また、この日をもって今季のファジアーノ岡山のライトアップ応援は終了しました。ライトアップや募金によるサポートもさることながら、ファジアーノ岡山の情報をOHK Live News「Sports 全力 Live!」、2021年元旦放送予定の特番などの番組でも更に一層、ファジアーノ岡山を応援して参ります。

